

夏のひび



振り向くと きらきら光る穂が揺れていた

いつも傍にあるのに 気にもとめなくて

時には 無常に踏んづけたりもして

それでも 強く 逞しく そして優しく

何てことないさっ とばかりに風に揺れている

『エノコログサ』……エノコロとは子犬のことで、穂の形が子犬の尻尾に似ていることから名づけられました。この穂を猫の鼻先で揺らすとじゃれかかることから『猫じゃらし』とも呼ばれています。稲科の植物で7・8月頃に咲きます。9・10月頃に咲くものは、花穂が大きく垂れ、『秋のエノコログサ』と呼んで区別されています。昔は、この青草を刈って牛馬の餌にしたそうです。

英語ではエノコログサ属の植物を『Fox tail grass(狐の尻尾草)』と言います。子犬の尻尾と言っよりは、狐の尻尾と言っほうが、似合っているかも知れません。

猫じゃらし 吾が手に持てば 人じゃらし

山口 誓子